

プログラム名	
森林と水のつながりを知ろう・学ぼう！	
プログラムの概要・ねらい	
森林にはどのような働きがあり、私たちの暮らしにどのような関わりがあるのかを、森と水のつながりを通して学んでいきます。 パワーポイントを使用した座学から、学校にはどんな土があるかの観察を経て、森林、草地、裸地を再現した浸透実験装置での降水実験を組み合わせる事で、より深い学びを得られるプログラムです。	
プログラムの分野	
☐ 地球温暖化防止・エネルギー ☐ ごみ・3R ☒ 自然 ☐ 生き物 ☐ 大気 ☐ 水 ☐ その他	
プログラムの対象者	
☐ 幼稚園等(☐ 3 歳児 ☐ 4 歳児 ☐ 5 歳児) ☐ 小学校 1,2 年 ☒ 小学校 3,4 年 ☒ 小学校 5,6 年 ☒ 中学校 ☐ 特別支援学校(☐ 視覚障害 ☐ 聴覚障害 ☐ 知的障害 ☐ 肢体不自由 ☐ 病弱)	
対象人数(1回に実施可能な人数)	
35 人程度	
実施場所	所要時間
教室、運動場、学校敷地内 (状況により体育館も使用)	※幼稚園等については、原則1時間まで 90 分程度
プログラムの実施に必要な準備物	
学校、園で準備が必要なもの	パワーポイント使用可能なテレビ又はプロジェクター、筆記用具、クリップボード、虫眼鏡(あれば)、水道水(30 ℓ 程度)
団場で準備するもの	実験装置一式、ワークシート、観察用トレー、スコップ
プログラム実施に伴う安全上の注意事項、リスクの対処法 ※雨天時の対応など	
【リスク回避】 校庭を使用するため、安全に観察を行える場所の選定や観察時の児童の見守りが重要 ⇒十分な打合せと下見を行い、リスク管理を行います 【雨天時の対応】 ※学校の要望があれば、日程の変更も視野に対応します 土壌観察は体育館に土を持ち込み対応、浸透実験は軒下等児童が濡れない場所や、汚れ防止対策を施し体育館等で実施します。	

【プログラムの進め方】

	学習内容・活動	写真
導入	○森の働きや水とのつながりを知ろう！（座学）15 分 森ってどんな所？ 水って何だろう？ 水はどこからやって来るの？ 森に降った雨はどうなる？ 森の大切な役割って何だろう？ 様々な問いかけを通して、森の働きや水との繋がり、森林の持つ多面的機能や、人（自分）と繋がりについて学びます。	 座学の様子
展開	○学校の土はどんな土かな？（観察） 30 分 ワークシートを使いながら、運動場や花壇などの土の硬さや色、匂い、形状、周辺環境の違いなどを観察します。また土による水の染み込み方の違いの観察も行います。	 土壌の観察
確認	○雨のゆくえを見てみよう！（実験） 30 分 森林、草地、裸地を再現した浸透実験装置（ライシメーター）に雨を降らせて、水の流れ方の違い、流れ出る時間や色の違いを観察します。 まとめ 15 分 森と水のつながりや、役割についての学びを、自分なりの言葉で表現してもらいながら、ワークシートをまとめます。	 浸透実験装置

【プログラムのアピールポイント】

- ・生徒自身が主体となって参加して頂けるようなプログラム展開を行います。
- ・森林の働きや役割を、体験を通して理解する中で、森林が、ただそこにあるだけの存在から、「自分にとって大切な存在」へと変わるきっかけとなる事を目指しています。
- ・生徒の学年や実施場所等の環境に応じ、柔軟に対応させていただきます。

【授業を受けた先生の声】

目で見える事が出来る実験装置は森林の機能が理解しやすく良い（浸透実験装置使用）